

令和元年度 指定管理者施設管理評価シート

		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	10 東京都台東区立くらまえ高齢者在宅サービスセンター	指定管理者	社会福祉法人東京援護協会	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H31. 4. 1	～ R6. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区蔵前2-11-7 [規模] 延べ床面積 3,937.96㎡のうち574.55㎡ 鉄筋コンクリート造地上7階地下2階のうち6階の一部
(3)	[委託事業] ①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）、②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員30名） [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～3日を除く）8時30分～17時15分
(6)	[人員体制] 15名 （内 訳）次長（1）相談員（1）介護職員（常勤8非常勤2）看護職員（常勤2名非常勤1） （前年増減）介護職員（常勤+1）

2. 予算決算

		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算
収入	委託料（指定管理料）	11,821,000	11,821,000	10,278,000	10,278,000
	利用料金収入	81,540,000	84,732,796	88,932,000	86,659,259
	その他収入（利用者等外給食費収入等）	792,000	873,000	792,000	914,540
	計	94,153,000	97,426,796	100,002,000	97,851,799
支出	人件費	65,676,000	60,288,765	75,686,000	69,802,808
	光熱水費	4,115,000	3,716,180	4,115,000	3,934,809
	維持管理費（委託料・賃借料）	15,992,000	13,645,799	14,349,000	14,287,210
	修繕費	657,000	243,000	657,000	7,992
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（器具及び備品取得支出等）	7,713,000	10,919,011	5,195,000	18,427,051
	計	94,153,000	88,812,755	100,002,000	106,459,870
収支			8,614,041		-8,608,071

3. 活動指標

	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
開館日数	日	311	311	309	309
定員	人	30	30	30	30

4. 成果指標

	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
利用率	%	92.2	90.9	89.5	92.2
利用者数	人	8,600	8,480	8,297	8,546

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

--	--	--	--	--	--

6. 評価の観点
 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
 (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令を遵守し、事業計画書、報告書等も適切に作成提出している。就業規則の従業員への周知や、出退勤の把握および記録による労働時間の管理など労働環境の整備を図っている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	近隣事業所と連携を図りながら、入浴希望の利用者を積極的に受け入れ、利用者が増加した。また、地元町会を中心に連絡調整を適切に行い、協力相談員、近隣学校、幼稚園、家族会、ボランティアとの連携を推進する等、地域福祉の向上に努めた。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	感染症委員会や衛生委員会を毎月実施し、衛生管理に努めている。また、職員が、毎日自主検査表を用いて危険個所の確認を行うなど、適切に施設の維持管理が行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	重度化に伴い増大している入浴希望の利用者を積極的に受け入れ、自宅での入浴が困難な方を優先し、機械浴・一般浴を提供した。リハビリ機器導入による利用者の自立支援の取組みが高評価である。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用者の増加に伴い、昨年より介護報酬収入増となったが、人件費支出増と器具及び備品取得等の支出により収支は前年のプラスからマイナスとなった。

(6) 優れた取組み <<加点項目>> ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

良好 (98 / 110点)	【所見】 重度化に伴い増大している入浴希望者を積極的に受け入れ、家族の負担減に努めている。また、利用者の自立支援に向けた取り組みのため、リハビリ機器を導入するなど、常に在宅高齢者の福祉向上に取り組んでいる。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 事業の運営については、利用者数が目標を上回ったが、収入支出について、管理業務委託費の増や器具及び備品取得等により収支はマイナスとなった。
-------------------------------	---	---